

令和7年度 普天間小学校の取り組み

1 研究主題名

コミュニケーション能力を育む指導の工夫

～伝え合おうとする積極的な態度を喚起する活動の実践を通して～

2 研究主題設定の理由

本市では、小学校英語教育課程特例校事業として、「児童生徒の生きる力の育成及び国際化の時代に必要 な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むこと」を目的とし、各小学校において英語教育を実施している。本校では、担任と ALT のティームティーチングによる指導を行い、児童も英語の時間を楽しみにしており、意欲的に参加している。

授業では発達段階に応じた語彙の獲得や挨拶、簡単な日常会話のスキル、歌やゲームなどを通じた楽しい英語に加え、学校行事や他教科と関連させたクロスカリキュラム的な方法で外国語への興味関心を高めてきた。しかし、このような活動だけでは与えられた形式をただ声に出しているだけで、思考力をあまり働かせなくてもできてしまう。また、語彙の獲得に個人差が見られることも課題として挙げられてきた。そこで、児童が潜在的に持っている「友達と気持ちを伝え合いたい」という積極的な態度を喚起する授業の工夫を本年度も継続して行うことで学びの質を向上させ、語彙の獲得やコミュニケーション能力の素地の育成につなげていく。さらに、伝え合おうとする積極的な態度を喚起する言語活動の充実を図り、相互交流のあるやりとりを工夫することで、児童の外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地を育成する。

そこで、本年度は発達段階に応じた児童主体となる体験的な活動や場を増やし、5・6 学年では教科担任制を導入して、より英語に親しみ身近な日常会話の場の設定ややりとりの工夫を行っていく。

本校では、単元の目標を見据えた指導計画を作成し授業計画の段階から HRT と ALT が連携して単元目標を設定しスモールステップで小単元のゴールを設定しコミュニケーション能力の素地の育成を目指す。

また、授業内だけでなく休み時間や給食時間、クラブ活動等においても ALT との関わりを通して日常的に英会話を楽しむ児童を育てていきたい。本年度もこれまでの成果を元に、児童主体となる授業改善を通して積極的にコミュニケーションを図り、伝え合おうとする積極的な態度喚起する活動の実践を目指していきたい。

3 研究の主な内容

(1) 目標

【低学年】

◎英語に触れる。

- ・歌・リズム遊び・ゲームなどの活動を通して、英語のリズムやイントネーションを体で感じとり、楽しく英語に触れる。

- ・英語をよく聞き，進んで発話する。
- ・行事やイベントを通して，外国と日本との文化の違いに気づき，外国のことに興味や関心を持つ。

【中学年】

◎基礎・基本の習得活用を図る。

①聞くこと

- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。

②話すこと〔やり取り〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。

③話すこと〔発表〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

【高学年】

◎基礎・基本の習得活用を図る。

①聞くこと

- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。

②読むこと

- ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。

③話すこと〔やり取り〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。

④話すこと〔発表〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

⑤書くこと

- ・大・小文字を活字体で書くことができるようにする。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

(2) 指導方針・方法

- 毎週金曜日に英語ミーティングの時間を設け，事前に英語の授業の流れを担当と ALT で確認し，授業がスムーズに行えるようにする。ALT と授業の流れや，各学年の発達段階に合わせた，語彙やターゲットセンテンスを確認する。
- 放送委員と連携し，登下校時の校内放送や，運動会などの学校行事に英語を取り入れる。
- 同じ ALT が一年を通して指導することで，互いに信頼関係が培われ，英語を積極的に話すことができるようにする。
- 日常的に外国語に触れられるよう，学級の掲示物を統一して曜日，気持ち，名前，天気 の受け答えがだれでも教室で練習できるよう工夫を図る。

4 本年度の取り組み

各学年の取り組み

1年



授業開始の歌を今日のクラスリーダーやボランティアメンバーが進んで前に出て歌を歌います。
みんな楽しんで学習しています。

2年



「体」の遊びを取り入れながら、友達と積極的に関わる様子。楽しみながら、一生懸命伝えようとしています。

3年



積極的に前へ出て、リトルティーチャーをしている様子



グループ活動でひとり一問ヒントを出し、他の友だちが答える学習。みんな真剣に考えて答えています。

4年



4年生、「目的地にたどり着けるかな？」担任が音声を入力し、児童は音声を聞きながら目的地へ行く学習です。
(turn・right, turn・left, go・straight)
無事にたどり着けるのかな？

5年



レストランでのメニューをしっかりと覚えようと、友だちと伝えあっている様子。どの子も覚えるために必死に学習しています。



レストランでメニューを伝える学習では、先生が店員役になりきることで、会話の場面設定をはっきりさせることができた。

6年



I like P.E

I can play volley ball

I want to join the volley ball team

What club do you want to join?

I want to enjoy the sports day

What event do you want to enjoy?

2026/2/17

ワークシート 8

中学生になったらどんなクラブに入りたいですか？

また、楽しみたい行事は何ですか？

を、ワークシートにまとめることができました。中学生生活への期待も高まって、児童同士が意欲的に関わっていた。単元の最後には発表も行い、学級全体で共有することもできた。

Lesson Plan

6年

令和8年2月19日(木)

トピック: 「中学校生活」 My Junior High School Life (Lesson 8) (part 6)

めあて: 「中学校でやってみたいことについて」発表しよう！ (Presentation) (part 1)

語彙: I like music. I can play the flute. I want to join the brass band. Also, I want to enjoy the music festival. など。

学習活動と内容	教師の支援		分
	HRT	ALT	
英語ルームに入ろう！	教室に入る前に Hello! May we come in please? (全員)	Yes you may! 児童: "Thank you!"	
クラスリーダー: Sit up straight. 全員: 🍌🍌 Yes! クラスリーダー: Let's start English class! 全員繰り返す クラスリーダー: Good morning/afternoon classmates. 全員: Good morning/afternoon class leaders and 先生たち。 It's Chants Time! *リズムに合わせて全員でやる クラスリーダー: Let's say 5 questions.	リーダーたちを前に立たせる。 Class Leaders, come here!	It's Chants Time!	5
Word Relay” または、” Let's Exercise !	Word Relay or Exercise!	Word Relay or Exercise!	3
① Alphabet Phonics Ee~Hh	Let's do the phonics!	Let's do the phonics!	7
② Presentation ! (発表) (なるべく全員参加) *作ったワークシートをみながら、みんなの前で一人一人発表する、	お手本を見せる	お手本を見せる	25
③ 感想を書きましょう (Reflection Time)	Write your comments!	"Good Job" スタンプ	5
終わりのあいさつ クラスリーダーは前に来て、英語で終わりの挨拶をする	Today's leaders come here please. リーダー: Sit up straight ! 全員: ok! リーダー: Let's finish English class. 全員: Let's finish!	全員: Open your hands! 3,2,1 go Thank you 🍌🍌 See you 🍌🍌 Goodbye! Rock, Scissors, paper 1, 2, 3!	

5 研究の成果と課題

(1) 成果

低学年

- 絵カードを使った活動やゲームを通して、友達と関わりながら楽しく英語に親しむことができた。【1・2年】
- ALT の話をよく聞き、簡単な指示に反応できるようになってきた。【1・2年】
- 英語でのあいさつが元気よくできるようになってきた。【1年】
- ALT に英語で話しかけてくる児童も増えてきた。【2年】

中学年

- ALT の英語を前後の文脈から推測しようとする意欲的な姿勢が見られた。【3・4年】
- 既習のフレーズを用いて、グループでクイズを作成し発表するなど、英語でコミュニケーションを取ろうとする様子が見られた。【3年】
- 活動の定着を図るため、ゲーム以外にもタブレットの音声を聞きながら目的地を探すなど活動形態を工夫したことで、英語を「聞いて理解する」経験を繰り返し積むことができた。さらに、友達と協力して課題を解決する場面も多く、自然と英語でのやり取りが生まれるようになった。【4年】

高学年

- 学んだフレーズを使って、英語で簡単なやり取りができるようになってきた。【5・6年】
- 英語を読んだり文章を作成したりすることが上手になった。【5・6年】
- プロジェクト型の活動（My town, My Hero の紹介など）に取り組む中で、伝えたい内容を考えながら英語を使う姿が増えてきた。【5年】
- 写真やイラストを使って、自分の好きなものや中学校でやってみたいこと等を英語で紹介するプレゼンに挑戦することができた。【6年】

全学年

- ALT と単元の流れを事前に共有し、活動のねらいを明確にしたことで、見通しを持った授業展開ができた。

(2) 課題と解決策

課題	解決策
●英語の学習に自信が持てない児童がいる。	☆肯定的なフィードバックや小さな成功体験を積みせる活動を増やす。 ☆カードを指さす、短い単語だけ言うなど、負担の少ない参加方法を選べるようにする。 ☆「聞く・話す・書く・読む」の中から自分に合った方法で取り組める場面を設定する。
●単語の定着や語彙力に個人差がある。	☆クラスルームイングリッシュなど、学級でも日常的に英語にふれる機会をつくる。 ☆視覚・聴覚・動作を組み合わせた学習を取り入れる。 ☆学んだ単語を使うミニ会話やミッション型活動を取り入れ、「覚える」だけでなく「使う」経験を増やす。

6 外部評価（学校運営協議会）

(1) 成果

- ・発達段階を十分に踏まえた授業構成により、児童が目的意識を持って楽しく活動に取り組んでいる。
- ・ALT の話す英語に自然に反応できており、聴き取る力が育っている。
- ・ICT を使い既習フレーズを再構成する展開は個別最適な学びの好事例と言える。ALT とのやり取りを基盤に、自分の言葉で表現する児童の姿に成果が見られる。

(2) 要望

児童が英語の時間を楽しめるような雰囲気づくりが、今後も継続されることを望む。